

令和  
7年度

白石区ふるさと会 / 札幌市白石区

PRリーフレット  
SAPPORO

# 白石でっち奉公 奮闘記



白石でっち奉公は、小・中学校の児童・生徒が、実際に就労体験する事業です。

次代の白石を担う子供たちに、地域で働くことを通して、学校や家庭ではできない体験をさせてあげたい。働くことの大切さや楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい。そのような思いから「白石でっち奉公」は誕生しました。

平成13年に白石区ふるさと会の主催で始まったこの事業は、「地域で子どもたちを育てよう」という趣旨が広く受け入れられ、現在は白石区ふるさと会と白石区が区内小・中学校と連携して実施しています。令和7年度は8校1,241名の児童・生徒が参加しました。

なお、この取り組みは子どもたちの「キャリア教育」の充実に顕著な業績があったと認められ、白石区ふるさと会は、平成24年度「文部科学大臣表彰」(文部科学省)及び「キャリア教育推進連携表彰」(文部科学省、経済産業省)を受けました。

親しまれてきた「でっち奉公」の名称は、令和8年度から「白石区小中学生のインターンシップ」という名称に変更予定であることをお伝えします。

## 令和7年度白石でっち奉公 実施概要

### ◆実施日・参加校

7月4日	西白石小	51名(5年生)	11月6日	白石中	141名(2年生)
9月11日	北都中	152名(2年生)	11月13日	日章中	155名(2年生)
10月31日	柏丘中	206名(2年生)	11月14日	北白石中	235名(2年生)
11月4日	東白石中	164名(2年生)			
11月5日	幌東中	137名(2年生)			

【参加者数】区内小・中学生1,241名 【受入先】区内企業、団体、施設等123社

※ 当日の急な欠席等により参加できなかった生徒を含みます。

※ 米里中学校2学年の生徒111名も参加予定でしたが、学年閉鎖により中止となったため、今年度の実施校・参加人数には含めておりません。